

夏の星空



東

西

北

南



星空紹介

夏の夜空には、南北に大きく流れる「天の川」を中心に、さまざまな星座が顔を見せます。まずは、頭上に広がる大きな三角形に注目してみましょう。これは「夏の三大角」と呼ばれ、その三角形をつくる星たちにも素敵な物語があります。

この三角形のうち、天の川を挟んで西側に輝くのが「ベガ」です。これは「こと座」の一等星で、七夕伝説では織姫星として知られています。一方で、東側にあるのが「アルタイル」です。この星は「わし座」の一等星で、彦星として有名です。この2つの星は、古くから恋の物語と結びつけられ、多くの人々に愛されています。そして、夏の三大角を形づくるもう1つの星が「デネブ」です。「はくちょう座」のしっぽの部分にあり、その名前には「しっぽ」の意味があります。しっぽにちなんだ名前の星は他にもあり、春の星座「しし座」のしっぽにある「デネボラ」、秋の星座「くじら座」の尾にある「デネブ・カイトス」などもその例です。

さて、天の川の上空を大きく羽ばたく白鳥（はくちょう座）が飛んでいく先には、S字のカーブを描く星の並びが現れます。これが「さそり座」です。ギリシャ神話では、サソリは勇敢な狩人オリオンの天敵とされており、さそり座が空に現れると、オリオン座は地平線の向こうへ逃げてしまうと語られています。さそり座の近くには、「いて座」が弓を構えて立っています。いて座は、上半身が人間で下半身が馬の形をしたケイローンが、さそりの心臓「アンタレス」に矢を放とうとしている姿が描かれています。

このように、夏の星空には神話や伝説に登場するキャラクターたちがたくさん散りばめられています。初めて星空を観察する人は、まず「夏の三大角」を見つけることから始めて、そこから他の星座をたどって、夜空の旅を楽しんでください。



みどころ

惑星

- ★金星：日の出前、東の空に見える。（明けの明星）
- ★火星：日の入後、西の空に見える。
- ★木星：8月上旬ごろから日の出前、東の空に見える。
- ★土星：9月上旬ごろから日の入後、東の空から昇る。

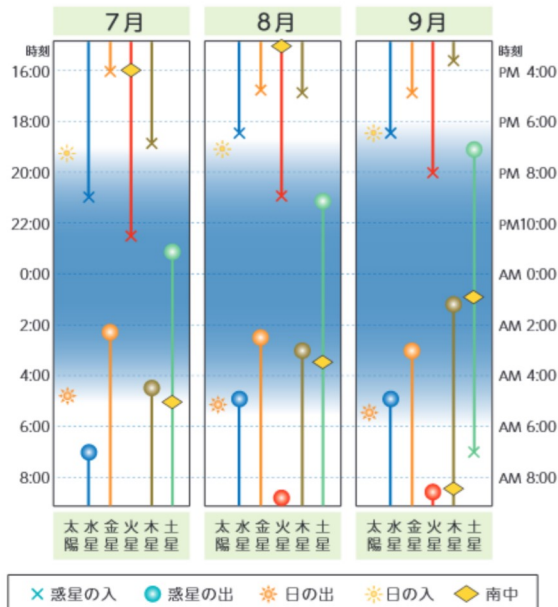
流星群

- ★ペルセウス座流星群
8月13日5時ごろピーク。月明かりがあるので、月とは反対方向を観察しましょう。
観察には12～13日がおすすめ。

月の満ち欠け

新月	上弦	満月	下弦
5/27	6/3	6/11	6/19
6/25	7/3	7/11	7/18
7/25	8/1	8/9	8/16
8/23	8/31	9/8	9/14

各月上旬の惑星の見え方



プラネタリウム番組紹介

彼方のエイリアン — 宇宙人のさがしかた —



この広い宇宙に、私たちと同じような生き物、「宇宙人」はいるのでしょうか？

小学生のマキトは、もしも宇宙人が地球にせめてきたらどうしよう、と不安に思っています。そんなマキトの元に、ある夜ふしぎな生き物が…。それは何と、太陽系から遠く離れた星の住人！マキトは地球よりはるかに進化したその星へ行くことになります。果たして宇宙人は私たちにとっておそろしい存在なのか、それともモダチになれるのか…！？

マキトといっしょに彼方の星々を旅しながら、「宇宙人の探し方」について楽しく学べるアニメーション番組です。

こちらも放映中 特別番組



ようこそ、プラネットカフェへ。
今回のメニューは「虹」。坂本真綾さんの心に虹が架かるような美しい歌声とやさしいナビゲーションとともに、写真家・高砂淳二さんが撮影した幻想的な虹のある風景をお楽しみください。

※特別番組は12:00のみの放映です。
※イベント等により、休映することがあります。